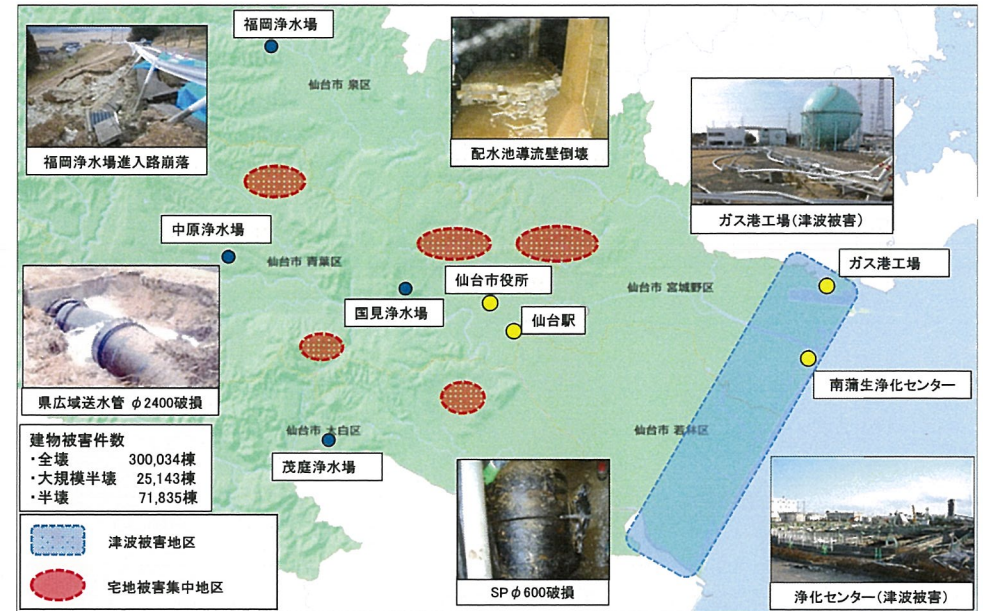


日本水道協会 全国会議シンポジウム
「大規模地震等災害へ備えるために - 強靱と連携 -」

【命の水をつなぐ、強い水道を目指して】



東日本大震災における仙台市の被害状況



水道の復旧状況



- ・3月11日: 東北地方太平洋沖地震発生
- ・3月13日: 燃料枯渇により送水P停止、配水所枯渇により断水エリア拡大(最大約23万戸、断水人口約50万人)
- ・3月22日: 広域受水開始
- ・3月29日: 津波被害地区を除き復旧完了
- ・4月 7日: 震度6強の余震発生

東日本大震災後の取り組み

震災の課題を教訓に、様々な取り組みを実施

災害に強い施設・システムの整備

被害発生抑制

- 1) 水道施設の耐震化
- 2) 重要施設への管路耐震化

影響の軽減化

- 1) 相互融通強化による単独水系の解消
- 2) 長期停電対策
- 3) 配水ブロックの適正細分化
- 4) 主要配水池へ緊急遮断弁設置

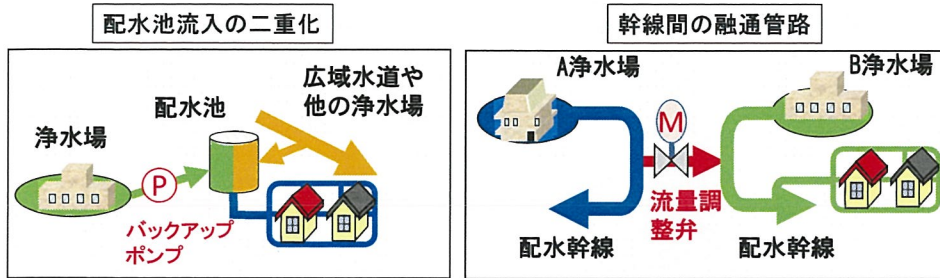
災害対応力の強化

災害対応の迅速化

- 1) 応急給水の充実
- 2) 他事業者との相互応援体制の充実
- 3) 危機管理体制の再構築
- 4) 復旧資材の備蓄・確保

東日本大震災後の取り組み - 影響の軽減化 -

1) 相互融通強化による単独水系の解消



2) 長期停電対策

- ◎自家発電装置の燃料タンク増強
浄水場 24時間 → 72時間分
- ・H26年度 中原浄水場
- ・H27年度 茂庭浄水場・国見浄水場
- ・H28年度 福岡浄水場
- ◎燃料の相互融通に備えた車両の導入
小型ローリー車 (950L)



東日本大震災後の取り組み - 災害対応の迅速化 -

1) 応急給水の充実



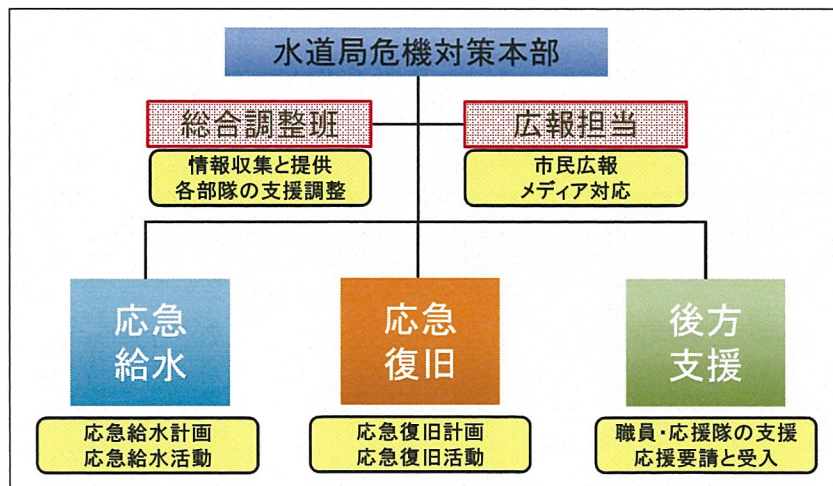
2) 他事業体との相互応援体制の充実



東日本大震災後の取り組み - 災害対応の迅速化 -

3) 危機管理体制の再構築

各部隊で柔軟かつ迅速に対応する体制へ



「命の水」をつなぐ、強い水道を目指して

